

# 山脇新町政 スタート



このたび、山脇町長就任後、初の町議会となる令和8年第2回町議会臨時会において、所信表明が行われましたので、その内容を紹介します。

## 町長所信表明

本日ここに、令和8年第2回四万十町議会臨時会を招集しましたところ、議員各位におかれましてはご多用の中、ご参集を賜り厚くお礼を申し上げます。

開会にあたりまして、私の町政運営に対する所信を述べさせていただきます。

去る4月12日執行の町長選挙におきまして、多くの町民の皆さまからのご信任を賜り、第四代四万十町

長として町政を担うこととなりました。あらためてその重責に身の引き締まる思いであり、町民の負託に応える町政運営に全力で取り組む決意であります。

議員各位におかれましては、今後の町政運営に対し、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、合併20年という節目を迎えた本町は、人口減少や少子高齢化の進行など、避けては通れない課題に直面しております。地域の活気の低下や将来への不安を感じておられる町民の皆さまも多いためと受け止めています。加えて、物価高など社会情勢の変化により、暮らしの先行きへの不安を感じておられる方も少なくありません。

しかし一方で、本町には人と人のつながりや、日々の暮らしの中で紡がれてきた地域の営みなど、誇るべき素晴らしい力があります。私はそこにこそ本町の大きな可能性があると確信しております。支え合いの中で築かれてきた地域の絆を守り、歴代町長や議員各位、そして町民の皆さまが守り育ててこられた四万十町を、次の世代へしっかりと引き継いでいく。その責任を胸に、これからの町政に取り組んでまいります。

このため、「生活基盤の安定」と「人口減少対策」を町政の柱として

捉え、そのうえで、将来にわたり持続可能で活力ある四万十町づくりを進めていく所存であります。これらを実現するための原動力は行政だけではありません。本町の「まちづくり基本条例」の理念に基づき、町民・議会・行政がそれぞれ役割を果たしながら協働のまちづくりを推進していくことが必要であり、いわば「チーム四万十町」として、力を合わせ、地域の発展を目指していくことが重要であると考えます。

そのための基本方針として、以下4点を申し上げます。

第一に、安心して暮らせる地域づくりであります。

地域医療体制の維持に向けた医師確保に尽力するとともに、地域包括ケアシステムの充実と周知により、高齢者福祉への不安を解消します。あわせて、健康づくりや特定健診の推進、地域ニーズに応じた公共交通の利便性向上への検討を進め、高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めます。さらに、防災面では、南海トラフ地震を見据え、自主防災組織や関係機関との連携を強化し、自助・共助の取り組みを一層充実させていきます。

第二に、子ども子育て支援と教育環境の充実であります。

3歳未満児の保育料無償化や保育所の完全給食、5歳児健診と就学

前検査の一体化モデル推進による切れ目のない支援の充実を図ります。また、十和小中学校の校舎整備をはじめとした教育環境の改善、さらには保育・教育現場のDXの推進により、安心して子育てできる環境づくりと未来を担う人材の育成を進めます。さらには、地元高校の魅力化を図り、町外からの生徒受け入れなど地元高校の振興を力強く後押しし、地域に根差した学びの充実と活性化を図ります。

第三に、地域産業の振興であります。

農林水産業においては、担い手の確保・育成と経営力の強化を図るとともに、地場産品ブランド化を推進し、生産と販売の両面から基幹産業の振興につなげます。商工業分野では、起業・創業支援や事業承継への対応を進め人材確保に向けた連携を強化します。また、高規格道路の延伸を見据え、道の駅や観光資源の連携により目的地となる観光の確立を目指してまいります。

第四に、移住・定住の促進と関係人口の拡大であります。

空き家の有効活用や移住ニーズの把握を進め、地域資源として活かす仕組みづくりを推進します。また、自然体験型観光や地域資源の魅力を発信し、交流人口の拡大と関係人口の創出につなげ、本町を応援し

てくれるファンを増やし、地方創生の大きな原動力としてまいります。

加えて、これらの方針を横断する重要な視点は「四万十川の保全と活用」です。本町は、清流四万十川の恵みとともに歩んできた町であり、その豊かな自然環境と原風景は、私たちの誇りであり、次世代へ引き継がなければならぬかけがえのない財産であります。この唯一無二の価値を守りながら、地域資源として活かし、環境と共生するまちづくりを進めなければなりません。

また、この4つの方針は、それぞれ独立したのではなく、相互に関連し合い、融合しながら進めていくべきものであります。生活基盤の充実が安心を生み、子育て環境が人を育て、産業振興が雇用を生み、移住定住へつながる。こうした好循環を生み出す町政運営を目指してまいります。

これらの施策を着実に推進するためには、強固な行財政基盤の確立が不可欠です。このため、既存事業の見直しや効率化を進めるとともに、時代の変化に対応した行政改革を推進し、持続可能な行政運営に努めてまいります。

そして、町政運営にあたっては、「現場に寄り添う姿勢」と「対話」を重視し、町民の声を丁寧を受け止め

ながら、課題解決に着実に取り組んでまいります。

あわせて、今後のまちづくりの指針でもある、次期総合振興計画の策定へ向け、町民・関係機関との協議を重ね、将来像を共有しながら計画的なまちづくりを進めます。「住んでよかった」「住み続けたい」そんな心から思える町を、議員各位、町民の皆さまと共に創り上げていきたいと思

います。「現場に寄り添い、声を力に。」安心と誇りある町の未来を、皆さまと共に切り拓いていくことを切に願うとともに、議員各位ならびに町民の皆さまの「ご理解とご協力」を心よりお願い申し上げます、私の所信表明といたします。

## 令和8年 第2回町議会臨時会 において副町長が 選任されました



つとむ 富田 努 副町長

### 副町長あいさつ

このたび、5月13日付けで副町長に就任いたしました富田努です。

私は、平成4年に旧十和村役場に入り、四万十町誕生後は本庁企画課に8年間所属し、本町のまちづくりの礎となる総合振興計画の策定や公共交通の再編などを担当してきました。平成31年4月からは十和地域振興局に異動し局長として6年間勤務、令和7年4月には再び企画課に異動し企画課長として総合的にまちづくりに携わってまいりました。

このたび、町長の補佐役という大役を拝命し、その重責に身の引き締まる思いですが、これまで培った知識や経験などを活かしながら、副町長としての職責を全力で果たしていく所存です。

これから4年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本町は、前町長を中心に人材育成や移住促進にも積極的に取り組んでおります。しかし、地方自治を取り巻く環境は、急激な人口減少や少子高齢化の進行、財政状況の悪化などで年々厳しさが増しており、このことは本町も例外ではあ

りません。

このような状況の中で、本町の振興発展のためには、持続可能な行財政運営を図りながらもこれまで以上に創意と工夫が求められることになり、それらの実現に向けてはさまざま場面での対話が重要になってくると考えております。

このことをしっかりと心に刻み、山脇町長を支え、今後のまちづくりに向けて前進していく決意ですが、もとより微力でございますので、皆さまのご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

### 監査委員の紹介

監査委員は、地方公共団体の財務に関する事務の執行、および、その経費に係る事業の管理を監査する機関です。田邊幹男さんの任期満了に伴い、次の方が選任されました。

なお、任期については、令和8年5月13日から令和12年5月12日まで4年間となります。



りか 細川 理香 さん  
(香月が丘・62歳)

# 令和8年第2回町議会臨時会において教育長が任命されました

5月12日に開催された四万十町議会臨時会で同意を得て、川上武史さんが四万十町教育長に任命されました。また、教育委員1名の任期満了に伴い、引き続き野中裕子さんが任命されました。

川上武史さんの任期は、令和8年5月13日から令和11年5月12日までの3年間となります。

## 教育長のあいさつ



かわかみ たけし 川上 武史 教育長

このたび、教育長を拝命いたしました川上武史です。

あらためて、その重責に身が引き締まる思いですが、四万十町の教育行政の充実と発展のため、微力ではありますが、精いっぱい努めてまいります。

四万十町は、豊かな自然とあたたかな人のつながりの中で、地域全体で子どもたちを見守りながら育

てている町だと感じています。

これまで教育委員会では「たくましく人間性豊かな人づくり」を基本理念として、学校教育の充実や生涯学習の推進など、幼児から高齢者までのさまざまな活動の場づくりを推進してきました。

これまでの理念・取り組みを引き継ぎ、学校や家庭、地域が力を合わせ、子どもたち一人ひとりが安心して学び、自分らしく成長できる教育を大切にしていきたいと思えますし、ふるさとへの誇りを育みながら、これからの時代を生きる力も身につけていってほしいと願っています。

教育は、行政だけで成り立つものではないと考えておりますので、町民の皆さまのお力添えをいただきながら、共に子どもたちの未来を支えていきたいと思えます。

少子高齢化や人口減少の影響を受け、教育を取り巻く環境は日々追って厳しくなっておりますが、子どもたちの可能性を伸ばし、次代の人材として活躍できるように教育環境の充実を図るとともに、町民の皆さまが文化的で心身ともに健康な生活を送れるよう、全力で取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力をよろしく願います。

## 教育委員の紹介

四万十町教育委員会は、教育長と4名の教育委員で組織しています。今回任命された委員を含めた、全委員をご紹介します。



にしたに ふみ 西谷 史さん  
(仁井田・59歳)

任期:令和9年5月11日まで



よこやま じゅんいち 横山 順一さん  
(大正・71歳)

任期:令和10年5月12日まで



たにぐち かずし 谷口 和史さん  
(大正・75歳)

任期:令和11年5月11日まで



のなか ゆうこ 野中 裕子さん  
(根々崎・41歳)

任期:令和12年5月12日まで

## 選挙管理委員会委員の紹介

四万十町選挙管理委員会は、4名の委員で組織しています。今回、委員の任期満了に伴い、次の方々が選出されました。

なお、任期については令和8年5月13日から令和12年5月12日までの4年間となります。



はやし ひさし 林 久志さん  
(古城・69歳)



たなべ たく 田邊 卓さん  
(大正・69歳)



はせべ えみ 長谷部 恵美さん  
(香月が丘・64歳)



きよたけ やすひこ 清藤 泰彦さん  
(茂串町・64歳)